

Mランドニュース Vol.221

丹波ささ山校 令和7年9月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569

TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 近藤 正幸

<https://www.sasayama-ds.com/>

E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

「才能は有限、努力は無限」

(松山英樹 :ゴルフ選手)



素晴らしい1枚

今年も、色とりどりの浴衣を身につけた多くのゲストが祭りに参加し、会場を華やかに彩ってくれました。今回は、実際にMランドの浴衣を着てデカンショ祭に参加した方から、届いたばかりの感想をご紹介します。

八月十五日、十六日の二日間にわたり、丹波篠山市の夏の風物詩、デカンショ祭が開催されました。Mランドでは、ゲストの皆さんが授業を終えた後でも祭りを存分に楽しめるよう、女性用の浴衣を無料で貸し出し、さらに門限の緩和や教習スケジュールを早めに終えるなどの調整を行いました。



篠山城跡の石垣

デカンショ祭り

森陽菜様

教習所に入ってからデカンショ祭りのことを知りましたが、実際に参加してみると、

柿崎 美由紀様



ヤグラをバックに

初めての土地で、初めて参加するお祭りは、ドキドキとワクワクがいっぱいで、とても素敵な思い出になりました。浴衣を貸していただき、ありがたうございました。

急遽知ったデカンショ祭り。今年は夏祭りになかなか行けていなかったのも、とてもワクワクしました。Mランドの浴衣レンタルを利用できたおかげで、お祭りが普段の何百倍も楽しくなりました。仲の良い友達とお互いに協力し合って浴衣の着付けをしたのも、良い思い出になりました。苦労しながらも上手に着られた時は嬉しかったです。

今年もデカンショ祭を通じて、ゲストの皆さんと地域との繋がりが、そして私たちMランドとの絆を深めることができました。天候が心配な日もありましたが、この日は素晴らしい晴天に恵まれ皆さんの笑顔がさらに輝いていたように感じます。これからも、地域のとの関わりを



夏の思い出！

活気があってとても楽しいお祭りでした。貸していただいた浴衣を着て、教習所で出会った友達と食べたかき氷は最高に美味しかったです。お祭りの終盤に上がった花火は、思わず声を上げてしまっただけで、本当に行つてよかったなと思いました。正直なところ、最初はただ免許を取るために来たのですが、Mランドのおかげで忘れられない最高の夏になりました。



満点おめでとう

私は勉強が苦手なので、一度に大量の情報を頭に入れることができません。だからこそ、授業をきちんと聞いて、その場で覚えることを意識することが大切だと感じました。夜は、問題集やマスターノートを使った勉強を毎日欠かさず行いました。特に、ロビーにある項目別の問題集は、ゲーム感覚で楽しく覚えることができ、とても役に立ちました。満点を取った時は本当に嬉しかったです。皆さんも頑張ってください！応援しています。

大切にし、ゲストが丹波篠山の魅力を満喫できるようにサポートしてまいります。

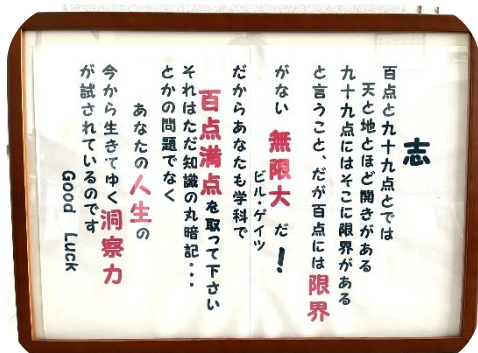
満点合格

谷岡 永真様

Mランドでは、入所の際に仮免許学科試験の満点合格を目指してほしいと皆さんにお伝えしています。

これは、私たちが深く共感するある考え方によって由来しています。それは、「100点と九十九点には天と地ほど開きがある。九十九点はその間に境界があるということ、だが100点には境界がなく無限大だ」というものです。創設者もこの考え方を大切にしていました。

100点満点合格は、ただ知識を完璧にするだけでなく、自分自身との約束を守り、努力を積み重ねた結果です。そしてその経験は、皆さんの今後の人生において、大きな自信と力になるはずです。皆さんも100点を取ってください！



学科教室やロビーに掲示

とことんこだわる大賞

共習・共育部

部長 南勝 宏幸

今年度のMランドのテーマは「詩」、そしてサブタイトルは「とことんこだわる」です。二〇二五年も、気付けば「あつという間」に八か月が過ぎました。

年初に掲げた目標に、少し立ち止まっている社員もいるかもしれませんが、しかし、そんな中でも、日々の仕事に「とことんこだわり」、常に目標に向かって励んでいる社員がいます。

そこで今月から、Mランドの「とことんこだわる」姿勢を体現する社員を毎月一名、「とことんこだわる大賞」として紹介させていただきます。

今月の受賞者は、
林美枝さん

今回は、教習指導員として日々教習や技能検定を担当している林美枝さんです。

林さんは毎日、朝の活動で応急救護の授業でよく使用する教室のタイル磨きを行ってくれています。そこには「とことんこだわる」林さんの姿勢が表れています。タイルには、バニラビーンズのような

小さな汚れがこびりついていることがあります。どんなに熱心に磨いても、完璧にきれいになるまでワックスをかけることはさせてもらえません。



ワックスの許可ができません

「どうせやるなら新品のように」と、何度も確認を仰ぎながら作業に取り組む林さん。達成した時の嬉しさは格別で、ピカピカに磨き上げられた美しいタイルを見ると、私たちの心まで洗われるようです。

これから、林さんのように「とことんこだわる」姿勢を見習い、Mランド全員でこだわりある企業を目指します。

家族と共に

先月号でご紹介した、職員のお子様たちの卒業や入学を祝う新たな取り組みは、

ご家族から大変好評でした。

この制度は、Mランドの成長を支える職員とその家族への感謝の気持ちを表すものです。

今月も、実際に祝いを受け取った職員からの声をご紹介します。思いのほか文章が長かったため一部を抜粋して掲載いたします。

顧客・環境

西出 周平

この度は、長女の小学校入学に際し、お祝い金をいただき、心より感謝申し上げます。早速ですが、いただきたいお祝い金で家族旅行に行かせていただき、かけがえない思い出を作ることができました。

今でも鮮明に覚えているのは、分娩室から聞こえた産声です。看護師さんに抱えられた娘を初めて腕に抱いた瞬間、「何が何でもこの子を守る」という父としての強い責任感が湧き上がってきました。壮絶な痛みにも耐えながら出産してくれた妻には、ただただ感謝と尊敬の念でいっぱい。本当にありがとう。

あれから約七年が経ち、楽しかったこと、嬉しかったこと、苦労したことなど、様々な思い出が蘇ってきます。初めての子育ては何もかもが手探りでしたが、今となっては本当に良い経験でした。特に、初めて自ら歩き始めた日や、初めての入園式、入学式は印象深く心に残っています。

初めての一步は、家族にとつて忘れられない日となりました。つかまり立ちがやっとだった娘が、突然妻に向かって一步を踏み出したのです。「えっ、今歩いたよね？」と顔を見合わせ、声援を送る中、その日は三步まで歩くことができました。今でもこの光景は家族の話題に上るほどです。

ある日、娘がテレビ台の角で目元を打ち、出血した時には、目の近くで動揺した私とは違い、冷静に対応してくれた妻に頭が下がる思いでした。この経験から、まずは慌てず冷静に対応することの重要性を学びました。幼稚園の入園式の日、制服を嬉しそうに着る娘に思わずニコリ。バス停へ向かう後ろ姿に「頑張れ！」とつぶ

やいた時には、思わず涙がこぼれました。小学校の入学式では、胸を張って堂々と歩く娘の姿、名前を呼ばれ「はいっ！」と返事をする姿を見て、娘のことを誇らしく思うと同時に、明るい未来が待っていると確信しました。振り返ると、娘の全ての行事ごとで涙を流していることに気づき、こんなに自分が涙もろいとは思いませんでした（笑）

今では弟も増え、家族四人となりました。これからも様々な困難が立ちはだかると思いますが、家族一丸となって乗り越え、笑いの絶えない家庭を築いていきます。

普段なかなか聞くことのできないご家族の貴重なお話でした。お子様の成長を温かく見守る眼差しや、ご家族への深い感謝の気持ちが伝わり、改めて家族の大切さを感じました。

編集後記

私も西出さんと同じく、いの子どもがいるので、とても共感しながら記事を作成しておりました。我が家では先日、息子の乳歯が抜けました。私の時代は屋根に投げたり土に埋めたりしてい

ましたが、今は枕の下に敷いて寝ると歯の妖精がコインに変えてくれると聞き、びっくり！グローバルな時代、古き良き日本の文化も大切にしつつ、歯の妖精にも慣れていくように思います（笑）

近藤 正幸



Mランドニュース
メール配信対応!

ご要望にお応えし、PDF版メール配信を開始します。

変更をご希望の場合は⇒



※メール配信の場合、郵送はいたしません。

Mランドフェスタ
-2025-
11/9SUN
9:00~15:00(予定)
入場無料
皆様のお越しをお待ちしております!